

知って備える防災メモ

第39回



災害に、より早く対応するために

自然災害は、いつ発生するかわかりません。だからこそ、日頃から防災情報をどのように取得して、どこに避難すれば良いかを確認しておく、災害発生時にすぐに避難行動などをとれるようにしておきましょう。

●登別市防災マップ

津波や洪水・土砂災害などの発生時に危険となる場所や、避難場所の位置を示した地図を掲載しています。家族や地域の皆さんで確認し合い、災害に備えてください。

○確認事項例

- ・周辺地域の危険箇所と避難所
- ・災害時の連絡方法など



※登別市防災マップは、発行時に市内全戸に配布したほか、転入された方にも配布しています。

●屋外スピーカーの放送

緊急地震速報などの特別警報、大津波警報などの気象警報、避難勧告などが発表・発令された場合、市内62カ所に設置している屋外スピーカーから、音声やサイレンが放送、吹鳴されます。聞き逃した際は、専用ダイヤル（☎0193）へ電話してください。

▼問い合わせ

総務グループ（☎01130）

●登別市防災メール

大雨や暴風などの気象警報、有事の際の国民保護情報などを迅速かつ正確に配信できるよう、市の防災情報メール配信サービスを行っています。

・登録方法

次の2次元バーコードを読み取るか、専用ホームページ（<https://service.sugumail.com/noboribetsu/>）から電子メールを送信し、返信されたメールの指示に従って登録してください。



人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

水芭蕉の会（社交ダンス）



気持ちも若返る社交ダンスで、日々の生活を豊かにしませんか。

「水芭蕉の会」は、それぞれの団体で社交ダンスを習っていた人たちが集まり、平成18年に発足したサークルで、ことしで10年目を迎えます。

初心者の方も気軽に参加できるようにになった現在、会員は65歳から75歳までの16人。毎週火曜日18時から21時まで、婦人センターで活動しています。

「親睦を深め、明るく、楽しく、健康に」をコンセプトに皆で踊っています。ワルツ、タンゴなどさまざまな種目がある社交ダンスは正しい姿勢が身に付きますし、音楽を聞きながら踊ることで心も癒やされます。そして何より、日々の生活がより豊かに、楽しくなることが魅力です。



▲ステップを踏み、笑顔で踊るメンバーの皆さん

力です。踊っているときは年齢を忘れ、若々しい気持ちになります」と話すのは、代表の久保恵子さん。

「練習が終わる頃には、すっかりとした気持ちになれます。初心者の方でもメンバーが丁寧に教えますし、年齢を重ねても長く続けることができますよ」と、久保さんは入会を呼び掛けます。

発足当初から、友人と一緒に同サークルに入会している岩部富志子さんは、「健康を維持するために社交ダンスを始めました。和気あいあいとした雰囲気なので、皆と一緒に体を動かすことを毎週楽しみにしています」と元気に話してくれました。入会を希望される方は、岩部さん（☎011831）まで。